

# CURIOUS MINDS

発行: せんだい若者サポートステーション

〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12

TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691

Mail: info@saposute.ne.jp

URL: http://www.saposute.ne.jp

平成21年1月 第16号

\*せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備事業」です。「社会へ一歩踏み出す」「働く」など、“これから”を一緒に考えていきましょう。

## ～ “curious minds” の願い ～

“curious”とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心（＝楽しみを見出す力）を大切に考えています。せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩みだしていこう、という思いで、この広報紙を“CURIOUS MINDS”（キュリアス・マインズ）と名付けました。

今回は新春拡大版!

平成21年最初の発行ということもあり、今回は、昨年12月に開催した就労支援フォーラムのご報告も合わせ、拡大版でお届けします。

いつもよりも内容が盛りだくさんになることで、せんだいサポステをより身近に感じていただければ幸いです。

せんだいサポステの活動のご報告、そして今後のイベントのご案内等を、コンパクトにまとめてお伝えします。

## せんだいサポステinformation

### サポステ忘年会のもよう



昨年の仕事納めの日、12月26日（金）の午後2時から「サポステ忘年会」を催し、会場の八本松市民センター和室は多くの参加者の熱気に包まれました。

夏に行った「サポステ飲み会」と同じく、事前に“実行委員”を募り、3名の実行委員で数回の企画会議を経ての開催でした。

当日の参加者は、メンバー15名、スタッフ4名の計19名。部屋がとても狭く感じられたほど。最初こそ、みんな遠慮がちでしたが、持ち寄ったお菓子や料理を食べるうちに緊張もほぐれ、リラックスしたムードに。ほとんどが“ソフトドリンク”を飲む中、アルコールをたしなむ人もちらほら。



後半は、「絵の伝言ゲーム」「以心伝心ゲーム」を行いました。絵がどこでどう変化したのかを笑いあったり、女性チームの以心伝心の素晴らしさに一同驚いたり、楽しいひとときでした。

最後には、実行委員への感謝の言葉や、「参加してよかった」などの声が聞かれ、参加者それぞれにとって有意義な「サポステ納め」となったようでした。

毎月、様々な分野でご活躍の方にお話しをお伺いする「先輩に聞こう!」。1月14日（水）には、デイサービスセンター職員の岩田氏においでいただきました。

岩田氏は、何度かの“転職”を経て、介護職という“天職”にたどり着かれたとのこと。



### 先輩に聞こう! デイサービスセンター職員 岩田 楽 氏

その転職の経緯や、その都度困難を乗り越えてきた岩田氏の生き方に、11名の参加者は、それぞれ感銘をうけていました。

特に今回は、福祉関係の仕事を目指している参加者から、具体的な質問が多数寄せられ、岩田氏はその一つ一つに丁寧に回答して下さいました。ありがとうございました。

### 出前相談会のお知らせ

各地とも、今年度最後の開催です!

～2月・3月の予定～

終日(10:00～16:00)、個別相談会を行います。電話でご予約の上、おいで下さい。

(仕事の紹介・斡旋ではありません)

- ◎ 2月10日(火) 大河原合同庁舎  
(柴田郡大河原町字南129番1号 TEL 0224-53-3111)
- ◎ 2月24日(火) 仙台保健福祉事務所岩沼支所(塩釜保健所岩沼支所)  
(岩沼市中央3丁目1-18 TEL 0223-22-2188)
- ◎ 3月10日(火) 仙台保健福祉事務所塩釜総合支所(塩釜保健所)  
(塩釜市北浜4丁目8-15 TEL 022-363-5502)
- ◎ 3月17日(火) 仙台保健福祉事務所黒川支所(塩釜保健所黒川支所)  
(黒川郡富谷町ひより台2丁目42-2 TEL 022-358-1111)

#### ＜対象となる方＞

- ・「仕事をしなきゃとは思っているけれども、何から始めていいかわからない」というご本人
- ・「本人の力になりたいが、どう接すればよいか…」とお考えのご家族の方など

来年度も開催します!

詳細は後日お伝えします。  
是非ともお気軽にご利用下さい。

詳細は、せんだいサポステ(022-246-9685)までご連絡を頂くか、ホームページ(<http://www.saposute.ne.jp>)をご覧ください

バックナンバーは  
ホームページで

“CURIOUS MINDS”のバックナンバーが、せんだい若者サポートステーションのホームページからダウンロードできます。もちろん、最新号もその都度アップしていきます。是非とも、ホームページ版もご活用下さい。

せんだい若者サポートステーションURLは、<http://www.saposute.ne.jp>

# 「働くってこわい、でもあきらめたくない・・・」“くもり時々晴れ”のボクらの就活日記のご報告

せんだい若者サポートステーションでは、平成20年12月14日(日)午後1時半より、NPO法人わたげの会との合同就労支援フォーラムを、アエル6階セミナールームにて開催しました。

今回は、「仕事や将来に対する不安を少しでも解消し、“未来への展望”や“不安を抱えながらも前進していく勇気”を持つ」をテーマに、3部構成でお届けしました。年末の日曜日にも関わらず、135名もの方にご参加いただきました。会場は外の寒さも忘れるほどの熱気に包まれ、「もっといろいろな話を聞きたかった」という声も出たほどの、あつという間の3時間でした。

その時の様子を、写真とともにお伝えします。



秋田敦子センター長の挨拶



熱心に耳を傾ける聴衆のみなさん

## 第1部 基調講演

静岡大学准教授 荻野達史氏



「若者たちの就労へのステップ:本人と社会との関わりから」と題し、社会学的見地から、「準備万端」主義への疑問や「憧れるモデルの重要性」などについて、お話しいただきました。

## 第2部 事業概要紹介

有限会社キャッツハンド 奥野潔和

せんだいサポステ 松井直美



「わたげ」の就労訓練部門「有限会社キャッツハンド」より、設立の経緯や就労訓練の実際、そして「就職への心構えチェックリスト」の話がありました。



「せんだいサポステ」からは、メンバーとの関わりから見てきた心の動きや傾向、サポステの支援方針や活動内容について、お伝えしました。

## 第3部 ライトトーク

「いま働いている+働こうとしているボクらの過去、現在、未来」



「わたげ」と「せんだいサポステ」の“卒業生”5名が、思い悩んだ過去やそれをどう乗り越えて「今」にたどり着いたのか、赤裸々に話ってくれました。その率直な語り口に引き込まれるかのように、会場のみなさんは熱心に聞き入っていました。そして、最後は5人の勇気をたたえる拍手で幕を閉じました。

## アンケート結果から 見えてきたこと

ご参加いただいた方の属性を見ると、約半数が若者ご本人、約3割がご家族の方でした。全体を通して「参加してよかった」とのお声を頂きましたが、中でも第3部の「ライトトーク」は「とても良い」が6割以上を占め、「良い」と合わせると9割以上の方が高い評価をして下さいました。その理由として「生々しい話が聞けた」「正直に話してくれた」など、本音が聞けたことへの感動がほとんどでした。

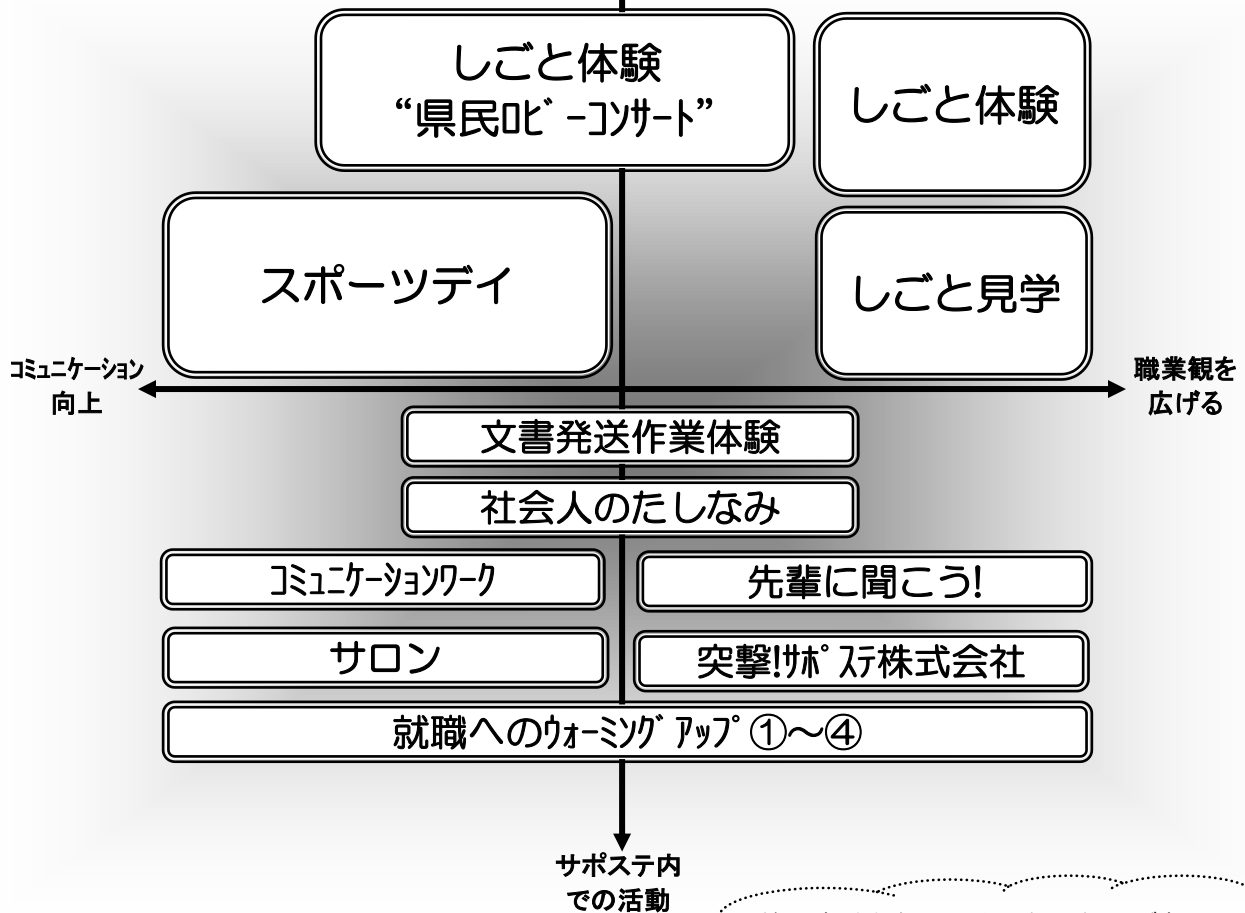
この結果は、新年度の事業へ生かしていきます。今後もご協力のほど、よろしくお願いいたします。

# せんだいサポステの イベントって、どんな事をやるの？

せんだいサポステでは、CURIOUS MINDSでもお伝えしているように、毎月様々なイベントを行っています。  
ここでは、各イベントの概要を、「目的別」にご紹介します。

サポステ外  
での活動

※ ご参加いただくには、  
予約をお願いいたします



## このような使い方ができます

使い方はもちろん人それぞれ。ご参考までにいくつか例を挙げます。

### ★「仕事へのイメージがわからないんです…。」



直接現場に触れられる「しごと見学」「しごと体験」がお勧めです。「ちょっと外へ出るにはまだ抵抗があるなあ…」という場合は、第一線で働いている方のお話を伺う「先輩に聞こう!」もあります。  
気軽にできる体験としては、サポステ内で行う「文書発送作業体験」や、本格的なビジネス現場のロールプレイを行う「突撃!サポステ株式会社」もいいかも。

### ★「人と関わるのが苦手で…。」



「やる事が決まっている方が気が楽だ」というならば、「就職へのウォーミングアップ①～④」でグループワークに参加してみましょう。自分の良いところや、職業興味の確認もできますよ。もう少しコミュニケーションに重点をおきたい場合は、「コミュニケーションワーク」がお勧めです。ゲーム感覚でコミュニケーションを深めていきます。  
「自由にいろいろ話してみたいなあ…」という方は、「サロン」をどうぞ。毎回テーマを設けず、自然な流れでの会話を楽しめます。

### ★「それでも、何から始めていいかピンとこないんですけど…。」



まずは、個別面談で、自分の気持ちを整理してみるのも良いかもしれません。「何を話せばいいんだろう…」という心配は無用です。相談員に「分からない」という想いを話すことで、新しい扉が開けてくるはずです。

# お仕事探検隊 12

このコーナーでは、せんだいサポステのメンバーの「きょうちゃん」が、気になる職業をレポートします。「きょうちゃん」の鋭い観察眼と素直さが滲み出ている文章が人気です！

\*お話を伺った方・・・特定非営利活動法人 オリザ・ネット  
 監事 横山正敏（よこやまさとし）さん



横山正敏氏

◇日本人の主食は、お米。ごはんには、炭水化物をはじめ、たんぱく質や、カルシウム、鉄分、食物繊維、ビタミンなど、体をつくるためのいろいろな栄養素が含まれています。しかし、近年は、昔なら当たり前だった食生活が崩れたり、安全性を欠いた食品が流通していたりします。不安のない、明るい食生活を取り戻しましょう。



オリザ・ネットは、「食育を、オリザ・ネットの和でひろげよう！」（※1参照）をキャッチフレーズに、食育の推進や安全で安心な農産物の消費の拡大などを目的とした、特定非営利活動法人（本部は仙台市。理事長は宮城学院女子大学教授の正木恭介氏）です。横山さんは、監事としてオリザ・ネットを支えています。

現在の日本の食料自給率は、40%。主な先進国（アメリカ128%、フランス122%、ドイツ84%、英国70%）と比べると、かなり低い水準です。しかも、自給率が安定している米でさえも、食の多様化で海外の米を輸入することが多くなっているのが実状。

「米は単なる食料（食べもの）ではなく、食糧（食べる糧）なんです」と横山さんはおっしゃいます。平成17年に成立した食育基本法（※2参照）を受けて、「米を食べること・米を作ることの両方を見直し、推奨していくべく、賛同する仲間とオリザ・ネットという法人を立ち上げました」。

農林水産省主体の平成20年度にっぽん食育推進事業では、【教育ファーム推進事業】（※3参照）の一環として、宮城学院女子大食品栄養学科の学生さん達が、作並地区にて田植えや畑仕事などに挑戦したそうです。その様子は、動画ポータルサイトYouTubeで観ることができます。また、活動報告のひとつとして、「幸せな食卓 幸せの食卓」というラジオ番組を、約半年間に渡り仙台FM・RADIO3で放送し、人気を集めました。横山さんは、「これからの時代、メディアをいかに活用するかが重要なんだよ」とおっしゃっていました。

横山さんは株式会社ケツト科学研究所の仙台営業所所長も務めています。ケツト科学研究所は、農業用測定機器などの研究・開発および販売を行う会社です。設立は昭和21年。昭和31年には、米麦水分計が食糧庁（現・農林水産省総合食料局）に正式採用されるなど、水分計のパイオニアとして歴史を重ねています。農業に携わる方々の声を聞き、広く農業に役立つ多彩な製品を意欲的に生み出すことで、高い評価と信頼を得ています。

「ケツト科学研究所は、オリザ・ネットを支援しています。これも、世の中に貢献できるひとつの形なのだと思います」

今後、オリザ・ネットは、3年かけて点を線にし、ネットワークを広げて行くとのこと。横山さんは、測定器を通じて第三者機関として協力し、オリザ・ネットを組織として存続させていきたいということです。

## ※1:オリザ・ネットのキャッチフレーズ「食育を、オリザ・ネットの和でひろげよう！」について

“オリザ”とはラテン語で“稲”のことであり、“和”とは、ごはんを食べることによって、日本人が食を通してお互いにお互いに支えあい、そして大きく育ち、健康になることを目指している。

## ※2:食育基本法

様々な経験を通じて“食”に関する知識と“食”を選択する力を習得し、生涯に渡って健全な心身を培い豊かな人間性を育むことを目的とする法律。

## ※3:【教育ファーム推進事業】とは

農（林漁）家が指導する1回かぎりのイベントではない「本物の農林漁業体験」のこと。生産の場と生活の場の距離が遠くなっている今、食への関心や理解を高めてもらうには、農林水産物の生産や採取を自ら体験してもらうことがとても重要となっている。

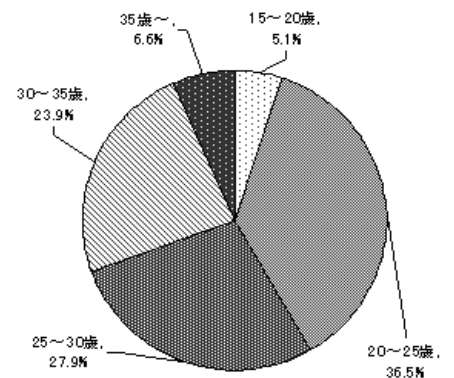


わたしの家は、数年前までは米を生産して出荷していた兼業農家でした。そのせいもあってか、農作物を育てることに興味・関心があります。自然の恵みを受け取ることができるのは、最高の喜びであり贅沢なことだと思います。ですが、現代は農業離れが進んで行く傾向にあるようです。農業に従事する人の減少もありますが、農業を始めようと思っても農地が無いということもあるのでは……など、今回の取材では“食”や“農業”や“食料自給率”についてかなり考えさせられました。わたしは、将来、農業に関わることもやってみたいという想いを胸に抱きました。

お仕事中の貴重なお時間を割いてインタビューに応じてくださった横山正敏さん、本当にありがとうございました。（BY きょうちゃん）

# せんだいサポステDATA ~登録者の属性や利用状況について~

## <登録者の年齢>



	平成19年度	平成20年度	合計	%
登録者数	124	78	202	100.0%
男性	97	56	153	75.7%
女性	27	22	49	24.3%
相談件数	730	1,066	1,796	
外出参加者数	770	1,034	1,804	
進路決定者数	25	40	65	100.0%
正規雇用	6	6	12	18.5%
非正規雇用	16	28	44	67.7%
職業訓練	2	5	7	10.8%
進学	1	0	1	1.5%
その他	0	1	1	1.5%

\*4月1日~1月16日